

La Movado

Fondita en 1951 N-ro 748 junio 2013

komuna organo de:

KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ
Sone-higasi 1-11-46-204, Toyonaka-si, Ôsaka-hu, 561-0802

KJUŜUA ESPERANTO-LIGO
Tohurô minami 2-8-7, Dazaihu-si, Hukuoka-ken, 818-0105

ESPERANTO-LIGO de TYÛGOKU kaj SIKOKU
Oogonzan-tyô 7-15, Minami-ku, Hirosima-si, 734-0041

ENHAVO

Indonezia Esperanto-Asocio	
設立総会に立ち会って.....	松本緑 1-2
語尾なし単語の使い方(6).....	相川節子 2
楽しい作文教室(24).....	塚本猛 3
Kajero libervola: Naskiĝo de Impresionismo	
Cefe rilate al Claude Monet(2) .. MATUMOTO Midori 4	
出版情報: 詩集 "DIALOGO"	4
対訳: 「初秋の浅間」(1)	堀辰雄/沖恵明 5
来年の関西大会.....	5
Literumilo Esperanta について	塚本 猛 6-7
関西の雑誌発行活動(2)	峰 芳隆 8
La 1-a Indonezia Esperanto-Kongreso	ĈE Juna 9
はじめての体験	市川晋平 9
宮本正男が残したもの.....	田熊健二 10
最近心に強く響いたできごと	的場朋子 11
Salono: 堀ノ江善仁.....	12
Vortaro por lernantoj (129)	Laŭlum 12
計報: 田中禎一さん	12
La Movado: KLEG 林間学校, 札幌合宿, EPA 合宿他	13
Vortokruca Enigma	Redakcio 14
作文教室成績	14
Mikspoto・KLEG 事務局だより・作文教室課題	15
編集ノート	16

Indonezia Esperanto-Asocio

設立総会に立ち会って

松本 緑

「日本から贈り物を持ってまいりました」私は、依頼を受けて日本からインドネシアに持ってきた一冊のエスペラントの本を差し出した。私の目の前に凛と立っている澄んだ目を持つインドネシア人女性は、白い歯を見せてにっこりと笑い、その本を手にした。彼女の金の糸で刺繍が施された真っ赤な民族衣装が、本の表紙の緑色によく映え、一層赤く見えた。彼女は、彼の地で私が初めて言葉を交わしたインドネシア人女性だった。LKK(Loka Kongresa Komitato)の委員長、イリア・スミフィア・デウィさん(s-ino Ilia Sumifia Dewi)だ。「どうもありがとう」と彼女は言い、私たちはその場で別れた。このささやかなやり取りの中においてさえ、私は彼女の気さくさ、人懐っこさを感じていた。

次に彼女をじっくりと見たのは、大会3日目、インドネシアエスペラント協会IEA(Indonezia Esperanto-Asocio)を立ち上げるために開催された重要な設立総会においてだった。KAEM創立者SO Gilsuさんの司会で、イリアさんとベルギーのLKK顧問のヘイディ・フーシュさん(s-ino Heidi Goes)とKAEM新委員の犬丸文雄さんが中央に座

り、LKKのメンバーも、インドネシアからの参加者も、そして、外国人参加者も重い空気に包まれていた。司会者があらかじめ提案されていたIEAの定款の一つ一つを声高に読み上げ、参加者たちは拍手することによって、それぞれの規則の賛否を決めていく。しかし、定款を記すエスペラントは決して易しくはない。総会の途中でたまりかねてヘイディさんは「インドネシア人の多くは初心者です!」と大声で叫び、場内は一瞬静まり返った。前方に集められたインドネシア人エスペランティストたち、とくに若者たちは、きよんとした顔つきで、促されるままに手を叩いている。

ここで、インドネシアにおけるエスペラント運動の歴史を概観しておきたい。2009年以前の数十年間、インドネシアにはエスペラントを流暢に話すことが出来るエスペランティストはごく僅かだった。インドネシアにおいて、エスペラントの濫觴は、オランダによる植民地時代の1894年7月8日に出版された雑誌に見られる。インドネシアにおける初期のエスペランティストは、オランダ人、イギリス人の役人や将校、船員、学校教師だった。1920年代、

エスペラントに関する講演会が、いくつか行われ、1928年には、学校へのエスペラント教育導入についての提案がなされ、可決された。インドネシアにおいて、現地住民への近代的教育が施されるようになったのは、漸く19世紀末になってからであり、1900年にはヨーロッパ式の学校に通う現地住民の数は全部で僅か1500人程度に過ぎなかったが、1928年までにはヨーロッパ式初等教育及び中等教育を修了した現地住民の数は、それぞれ7万5000人、6500人を数えるに至った。現地住民に対する教育促進と、学校教育へのエスペラント導入の時期が符合することは大変興味深い。20世紀にはいると、オランダの高等学校、大学に留学するインドネシア人の数も増えていった。1938年にはエスペラントによる著作の展示会がスラバヤで開催され、1940年にはバンドンにおいて、地元のエスペラントクラブによって祭事と展示会が開催され、大成功に終わった。しかし、第2次世界大戦が始まり、戦争全体が日本の敗色濃厚になるに伴い、1942年には日本軍がインドネシアを占領した。日本人による支配は現地住民を圧迫することになり、多くのエスペランティストが日本軍との戦いの中で、あるいは、日本の収容所の中で命を落とし、エスペラント運動の炎は消えた。しかし、1952年にIEAが創られ、試験や展示会などが開催され、1960年4月1日から3日まで会議が開かれた。そのため、エスペランティストが再び、エスペラント運動の意義をインドネシア国民や政府に紹介する機会を得た。特に政府の要人たちは、会議の折に、運動に深い共感と興味を示し、その数日後には、エスペラントに関する記事が長々と新聞に掲載され、エスペラントについての国民の意識が高まった。ところが、政治情勢の影響を受けて1965年以降、エスペラント運動は、またもや影をひそめた。

それから、48年。2013年4月7日深夜に漸く定款が認められ、新たなIEAが産声を上げた。

笑顔で本を受け取ったイリアさんが会長に就任され、IEAの新しい船出を祝うこととなった。私は、総会でIEA設立という歴史的瞬間に立ち会うことが出来た喜びを、心の奥底で静かに味わっている。

(編集部より) 第1回インドネシアエスペラント大会は、ボゴールで2013年4月5日から8日まで開催され、10カ国66人が実参加しました。

初心者のための

語尾なし単語の使い方(6)

相川節子

本来副詞(9) ĉu

初心者のみなさんもよくご存じの単語です。文の最初に置き、疑問文を作ります。

Ĉu vi partoprenos en la kongreso?

(大会に参加されますか)

作文教室などで、ĉu と他の疑問詞をいっしょに使っている答えを見ることがあります。たとえば「あなたはいつ彼に会いましたか」という文を、初心者が Ĉu vi kiam vidis lin? と訳してしまうケースです。「いつ」=kiam、「～ですか」=ĉu と頭の中で置き換えてしまうからですが、関連詞のki-列の疑問詞は「～ですか」の意味をすでに含んでいますので、ĉu は不要。混乱しないために、最初のうちは「jes か ne で答える質問にはĉuを使う。それ以外の質問なら関連詞のki-列」と覚えてください。そのうちに慣れて、いちいち考えずに使えるようになります。

接続詞としての使い方は、接続詞の項で改めて説明します。

本来副詞(10) des (ju の項でまとめて説明します)

本来副詞(11) do

分類すれば副詞ですけれど、感嘆詞に近い使い方をされているような気がします。前の文の内容や、現在の状況を受けて「それなら」「それで」と言う意味で使います。

たとえば遠足で集合した時、

“Nun ĉiuj kolektiĝis.” “Do ni ekiru!”

(「全員集まりました」「それじゃ、出発しましょう」)

学習会を欠席した人がいて、指導者が、

“Li havas malvarmumon. Li do ne povas veni.”

(彼は風邪です。それで来られません)

疑問文の中で使われることもよくあります。

“Ĉi nun vojaĝas en Koreio.” “Kiam do ŝi revenos al Japanio?”

(「彼女は今韓国を旅行中だ」「それで、いつ日本に戻ってくるの?」)

上記の文例でわかるように、do は文頭にも文中にも置くことができます。



①彼は毎朝6時から7時の間に起きる。

【訳例1】 Ĉiumatene li ellitiĝas inter la sesa kaj la sepa.(alfa)

【訳例2】 Li ellitiĝas inter la sesa kaj la sepa ĉiumatene.(田原, CA, Fumi)

【訳例3】 Ĉiun matenon li ellitiĝas inter la sesa kaj sepa horoj.(一部修正:水渡)

起きる: ellitiĝi.

~の間: inter(対象の間)。

この課題の題意は「毎朝6時と7時の間の時点で起床する」ですから、前置詞に *inter* を使えます。*de* (~から) と *ĝis* (~まで) の組み合わせだと期間になりますから、1時間かけて起きるような感じになるでしょう。時刻の表現ですが、訳例のように *horo* を省略することが多いと思います。訳例3では、2つの時刻をまとめているので *horoj* と複数になっています。なお、*je* は意義不定の前置詞です。時刻を示すための前置詞というわけではないので、他の前置詞や対格が使える場合はそちらを使います。ただし、いつも *je* と対格を置き換えられるわけではありません。*je la sesa* は「6時に」ですが *la sesan* は意味が変わります。普通 *tago* を省略して「6日に」として使うので気を付けましょう。

②家の外では強い風が吹いていた。

【訳例1】 Ekster la domo blovis forta vento.(田原)

【訳例2】 Forta vento blovis ekster la domo.(CA, festo)

【訳例3】 Ekster la domo forta vento blovis.(AG, ヒー坊, Eiko, Ĉielo)

【訳例4】 Forta vento furiozis ekster la domo.(西)

吹く: blovi.

~の外で: ekster.

「家の外」に使う前置詞は全員が *ekster* でした。この課題では、さまざまな語順の解答がありました。*ekster la domo* と *forta vento* がまとまっていれば、それなりに分かりやすいと思います。課題1の続きだと考えると、視点を部屋の中から外へ移すために *ekster* を先頭に置く方が良いような気がします。単独の文なら *forta vento* で始めるでしょう。

水渡さんは無主語で *ekstere blovis forte* と表現しました。これは *blovi* を *venti* に変更する方が良いと思います。風 *vento* を動詞化した *venti* であれば、無主語で使えますので *ventis forte* と表

現できます。

訳例4は *furioza* (怒り狂った) を使っています。「家の外では強い風が荒れ狂っていた」ということで、台風なみの風が吹いていたのでしょう。原文よりかなり強い表現になっていますね。

③彼はもう丸一時間窓のそばに立っている。

【訳例1】 Li staras jam la tutan horon apud la fenestro.(Eiko)

【訳例2】 Li staras apud la fenestro jam tra tuta horo.(lvajo)

【訳例3】 Li staradas ĉe la fenestro jam dum tuta unu horo.(Ĉielo)

もう: jam.

~の間: dum(時間範囲全体)。

「丸一時間」は訳例のように、対格を使って *la tutan horon* か、前置詞 *dum* で *dum la tuta horo*、あるいは前置詞 *tra* (~を通して、~中) でしょう。前置詞を使うのなら、同時に対格は使いません。どちらか一方を使います。「窓のそば」では *apud* が良いと思います。でも「窓際」と解釈すれば *ĉe* でも良いでしょう。なお、窓は *fenestro* です。 *vintra* (冬) は英語の *window* にちょっと似てますから間違えないように。

「立っている」は *stari* です。訳例3のように *staradi* にすると「立ちつくしている」になり、もう1時間も窓際に立ったままなのが強調されます。

④幸い、その風は8時頃にやんだ。

【訳例1】 Bonŝance la vento ĉesis ĉirkaŭ la oka.(M.H.)

【訳例2】 Feliĉe, la vento ĉesis blovi ĉirkaŭ la oka.(CA)

【訳例3】 Feliĉe la vento ĉesis ĉirkaŭ la oka horo.(田原, 類似訳: ヒー坊, Ĉielarko, 西)

幸い: feliĉe, bonŝance(幸運にも)。

やむ: ĉesi, finiĝi(終わる)。

~のころ: ĉirkaŭ(周辺)。

「8時頃」ですが、*je la oka* だと「8時に」の意味になります。一方、「~のころ」にあたるのは *ĉirkaŭ* です。それなら2つを一緒に使えば良いのではないかと考えるでしょう。しかし *je* は意義不定で、たまたま時刻を示しているだけです。つまり、*je* と *ĉirkaŭ* を一緒に使っても *ĉirkaŭ* 以上の意味にはなりません。そこで *je* は省き *ĉirkaŭ* だけで表現することになります。

成績は p.14、8月号の課題は p.15

Post la apero de tiu ĉi kritiko en ĵurnalo multaj kritikistoj malestime ekuzis la vorton "Impreso" kiel titolon de sia kritiko pri tiu ekspozicio. Estas interese, ke la nomo de la skolo Impresionisto naskiĝis de la kritikoj kaj moko-ridoj.

La fekunda pentristo ekspoziciis 5 oleopentraĵojn kaj 7 paŝtelojn en la unua ekspozicio. Unu el la oleopentraĵoj, kiu nomiĝas "Lunĉo" (1868-69), estas pentrita laŭ la akademieca pentro-maniero: konturo, klarobskuro kaj perspektivo. Krome tiu malnovtipa pentraĵo estis pentrita 6 jarojn antaŭ tiu ekspozicio. Kial li aldone ekspoziciis tiom malnovan pentraĵon? Laŭ unuaj opinioj lia celo estis altiri atenton de la spektantoj al siaj novaj pentraĵoj metinte ilin kun la malnovaj. Laŭ aliaj opinioj ili celis kolekti ĉiujn spektantojn, kiuj interesiĝas pri diverstipaj pentraĵoj. Laŭ triaj opinioj *Monet* deziris, ke la spektantoj rekonu la veran valoron de tiu malnova verko, kiu estis rifuzita de Salono en 1870. Laŭ mia opinio li deziris montri al la spektantoj sian kapablon fari pentraĵojn kaj laŭ la moderna kaj ankaŭ laŭ akademieca manieroj.

La pentraĵo "Impreso, sunleviĝo" estis la plej konciza el liaj ekspoziciitaj pentraĵoj. Kial li pentris tian pentraĵon en sia hejmloko *Le Havre*? Li pentris ĝin post la milito inter Germanio kaj Francio, kiu okazis de 1870 ĝis 1871. Tiutempe la urbo *Le Havre* estis la dua granda havenurbo, kaj li propra-okule vidis la reviviĝon de la urbo post la milito. La ruĝa suno leviga kaj donas al la urbanaj esperon, forton kaj revon. Laŭ mia opinio li sopiris pri la prospera hejmurbo kaj tie faris tiom originalan pentraĵon, ĉar li ankaŭ esperis prosperon de la nova skolo en art-mondo en 2013.6

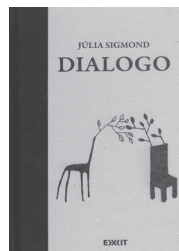
sia lando.



Lunĉo (1868-69) 「1968 昼食」

出版情報

ルーマニアの Julia SIGMOND の詩集 "DIALOGO" が出版された。恋人同士の対話からなるエスペラント原作詩と、その詩の 52 の言語への翻訳をまとめて、美しい本に仕上げたもの。日本語へは Krizantemo 訳。翻訳を集めるためには、エスペラントの人脈が活用された。言語の表記に一部問題があるということであるが、珍しい文字を使う言葉もあり、日本語とエスペラント以外は読めないとしても、楽しい。購入を希望する方は、作者の Julia SIGMOND <jjjusi@gmail.com> に問い合わせを。



初秋の浅間

(1)

堀 辰雄

この山麓では、九月はたいへん雲が多い。しかし、夏の近づく頃の雲の不活発な動きとは異って、白い、乾燥した、動きのいちじるしい雲の塊りが不連続的に通り過ぎる度毎に、何かがそれらの雲とともに一剥されでもしたかのように、そのあとで青空はいよいよ本物の青空に近づいてゆく。——そういう雲のたたずまいが、とても好い。林のなかの空地などに寝そべって見ていると、そういう雲は絶えず西から東へとときどき日かげを翳らせながら流れてゆく。

そういう雲のなかから、浅間山もたえず見え隠れしながら、ときどきその全貌をすっきりと爽やかに見せたりする。山肌はいよいよ黄ばみ、夏などもっと多いと思っていた煙りが、思いがけず、ほとんどあるかないか位にしか立っていなかったりする。——が、そういう時くらい、浅間山が魅惑的に見えることはない。日がばあっと当って、それがまだ何物をも温めていない、もうかなり肌寒いような朝など、起き抜けにふところ手をして山を見に出ると、そんな朝は浅間はきまって雲ひとつない山肌を冷え冷えと見せている。その山肌一めんじに日が赤あかとあたり出すのを眺めていると、山自身が見る間に淡い雲を湧き立たせ、ヴェイルのように漂わせ、だんだんそれが濃くなっていて、しばらくするうちに自分自身を半分以上その雲のなかに隠してしまう。それから終日、そのなかに見え隠れしている。

(続)

Rimarkoj:

(*1) La monto *Asama*

La monto *Asama* estas aktiva vulkano kaj etendiĝas je ambaŭ gubernioj de *Gunma* kaj *Nagano*. Eĉnun ĝi fumas.

(*2) la manoj en la sino

Tiam *HORI Tatu* ŝajnis porti kimonojn sur si sed ne trametante siajn brakojn tra manikoj. Liaj manoj estis metitaj antaŭ sia brusto en la vestaĵo.

来年の関西大会の準備始まる

来年の第62回関西エスペラント大会は、5月号既報のように姫路開催が決まったが、はりまエスペラント会は、4月18日会場予定の「イーグレひめじ」でプレ準備会を開いた。出席はKLEG事務局の中道民広さ

La Monto *Asama*^(*1) en frua aŭtuno

(1)

de *HORI Tatu*tradukis: *OKI Keimei*

En ĉi tiu montopieda regiono septembre ŝvebas multaj nuboj. Sed malsame ol malviglaj nuboj en sezono proksima al somero, je ĉiu nekontinua preterpaso de blankaj sekaj kaj rapide moviĝantaj blokoj da nuboj, io kun nuboj kvazaŭ pounufolie estus detavoligita disde la ĉielo, kaj poste la blua ĉielo pli kaj pli ŝanĝiĝas al vere klara blua ĉielo. — Aspekto de tiaj nuboj estas tre agrabla por mi. Kiam mi kuŝas en interarba spaco kaj rigardas la nubojn, tiuj flosas for de okcidento al oriento unu post alia, de tempo al tempo malheliginte la teron.

La monto *Asama* senĉese ripetas kaŝi kaj malkaŝi sin en tiaj nuboj, kaj de tempo al tempo ĝi montras la tutan aspekton eleganta kaj freŝa. La surfaco de la monto pli kaj pli koloriĝas flave, kaj spite de mia atendo eĉ troviĝas tagoj, ke preskaŭ ne videblas fumo leviĝanta, kvankam mi juĝis, ke fumo estu multa en somero k.s. — Tiam la monto *Asama* aspektas nekompareble alloga. En la mateno, ke la suno hele prilumas la monton sed ankoraŭ varmigas nenion kaj estas haŭtopike tre malvarme, mi kun la manoj en la sino(*2) rigardas la monton, tiam ĝi ĉiam aspektigas malvarmega sian surfacon kun nenia nuboj. Kiam mi rigardas la pejzaĝon, ke la suno ruĝe ekprilumas tutan montosurfacon, la monto mem elfontigas maldensan nubon en mallonga tempo kaj igas la nubon ŝvebi kiel vualo. Tiu nuboj iom post iom densiĝas. Post iom da tempo la monto kaŝis pli ol duonon de sia korpo en la nuboj. De tiam ĝis la vespero, la monto alternigas montri sin el la nuboj kaj kaŝi sin en nuboj. (daŭrigota)

んと神戸の磯貝尚武さんを含めて12人。番組の企画や和歌山大会に参加して学ぶことなどを話し合い、記念品にはKLEG図書部が企画しているタニヒロユキ編『簡明日本語エスペラント辞典』(仮称)を選ぶことを決めた。

[←峰芳隆]

Literumilo Esperanta について

塚本 猛

Literumilo Esperanta はウィンドウズ用のフリーソフトです。本ソフトは、スペルチェックソフトとして公開していますが、おおかたのスペルチェックソフトとは異なり、大きな辞書データベースを持ちません。また、合成語を要素に分けることができるので、スペル確認の補助としてだけでなく、辞書引きの補助としても使う事ができます。エスペラントの特殊文字を入力できない場合は、X-方式 (cx → ĉ) などによる英字・記号の入力を受け付け、実行時に特殊文字に変換します。また、特殊文字から X-方式に変換することもできますので、メール送信用テキストへの変換にも使えます。

チェック方法ですが、エスペラントの合成語が単純な語の接続からなることを利用して語の構成要素を推定します。もし推定が失敗したら、本ソフトの誤りか、スペルの誤りのどちらかだと考えられます。チェック用の辞書 (語根、接辞等の表) は、Akademio の公認語根と推奨国名、頻出語を基礎にして作成し、さらにいくらかの単語を追加しました。略語や固有名を含んで約 9000 語を使用します。この辞書により、チェック用に 3万 4 千以上の有効な語を生成することができます。

全角文字が混在したテキストも取り扱えますが、スペル確認補助の対象は半角文字部分だけです。固有名については、追加用のサンプルファイルを用意していますので、使用者が独自に追加できます。本ソフトのバージョン 1.6 は、Windows 2000, XP, 7, 8 で使用できることを確認しています。

1. 本ソフトを手に入れるには。

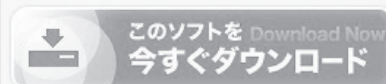
本ソフトは、ベクターライブラリで公開していますので、ダウンロードして解凍すると使用できます。特別なインストールは必要ありません。キーワードを "literumilo Esperanta" として検索すると、結果に「エスペラントスペルチェックのダウンロード <http://www.vector.co.jp/soft/dl/winnt/edu/se497746.html>」が表示されます。

Literumilo Esperanta エスペラントスペルチェックのダウンロード : Vector ...
www.vector.co.jp > 学習 & 教育 > 外国語 - キャッシュ
エスペラント語用特殊文字または X-方式への変換, 単語の構成要素推定によるスペル確認補助

Literumilo Esperanta エスペラントスペルチェックの詳細情報 : Vector ...
www.vector.co.jp > 学習 & 教育 > 外国語 - キャッシュ
エスペラント語用特殊文字または X-方式への変換, 単語の構成要素推定によるスペル確認補助

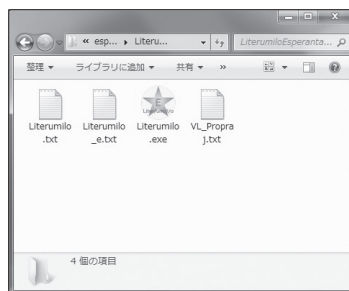
検索結果の下線付き文字列部分をクリックすると、www.vector.co.jp のサイトに移動します。ダウンロードタブで「このソフトを今すぐダウンロード」をクリックすると本ソフトを手に入れることができます。日本語表示版や文字表示が大きい版、取扱説明書も一緒に公開しています。

ソフト名: Literumilo Esperanta エスペラントスペルチェック 1.6.12
ファイル: LiterumiloEsperanta_1612.zip / 325,869Bytes / 2013.2.16



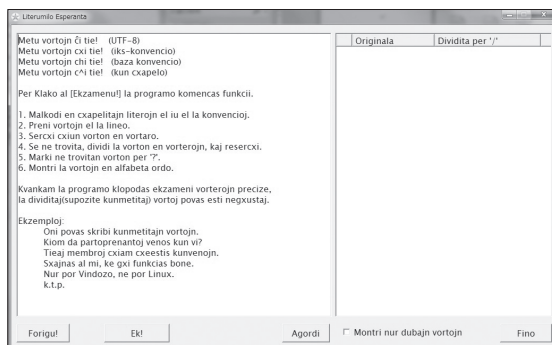
2. 本ソフトの解凍 (展開 unzip)。

ダウンロードしたファイルは ZIP 形式で圧縮されています。エクスプローラーで開いて展開するか、7-zip, lhaz などの解凍ソフトで解凍すると、どのようなフォルダーができます。緑星のアイコンがついたファイルが実行ファイル (literumilo.exe) です。このファイルのショートカットを作成して使う事もできます。不要になった場合は、これらのファイルを削除するだけで元の状態に戻ります。レジストリなどは一切使用していません。



3. 本ソフトの起動。

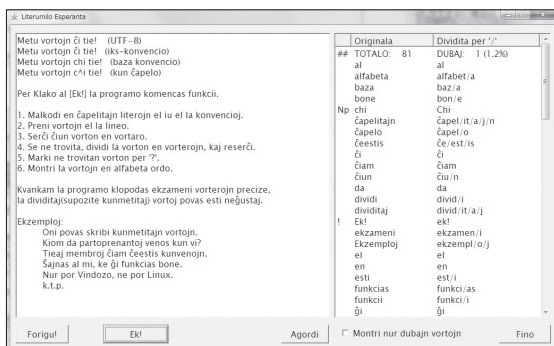
本ソフトは、緑星アイコンをクリックすると起動出来ます。なお、この画面の左上の小さなアイコンをクリックするとメニューが表示され、一番下の "Informo pri literumilo" をクリックすると本ソフトのバージョンを表示します。



4. 本ソフトの使用。

左側が入力エリアで、右側は結果表示エリアです。入力エリアに単語、または文章を入力して [Ek!] のボタンを押すとチェックを開始します。チェック開始直後に、入力エリアの文字を変換して再表示します。各単語の構成要素を調べ終わったら、右側に結果を表示します。[Forigu!] は表示を消したい場合、[Agordi] は設定変更したい場合に押します。"Montri nur dubajn vortojn" は疑わしい単語だけを表示するのに使います。

通常、ほとんど待ち時間無しですぐに結果を表示します。結果が表示された後 [Fino] を押すと、プログラムを終了します。なお、数千行の長い文章を入力すると、古い PC では数分かかる場合があります。



5. 入力エリア。

入力エリアにはキーボードから入力するか、クリップボードからペーストしてください。ファイルドロップも可能です。右クリックするとメニューを表示します。

字上符付きの文字が入力できない場合は、X-konvencio (cx → ĉ) 等により英字と記号の組み合わせで入力も可能です。どの変換方式を使用するかは、オプション (Agordi ボタンで開く) で指定できます。全角文字と混在しても構いませんが、全角文字と英字の間には少なくとも 1 個の半角スペースを入れてください。シングルクォート、ピリオド、ハイフンを語の一部として使わない時は、必ず次にスペースを入れてください。

6. 右クリックメニュー。

入力エリアでの右クリックメニュー (コンテキストメニュー) には次の機能があります。[再表示]、[やり直し]、[切り取り]、[コピー]、[貼り付け]、[すべて選択]、[ファイルから読み込み]、[保存]、[語検索]、[検索]、[リストへ]。入

力エリアの単語を選択して [リストへ] を選択すると、表示エリアの対応位置に移動します。

7. ファンクションキー。

入力エリアでは、[F3] (検索して次の単語位置へジャンプ)、SHIFT+[F3] (逆方向へ検索して次の単語位置へジャンプ) のファンクションキーと、CTRL+C (コピー)、CTRL+V (ペースト) のショートカットキーが使えます。

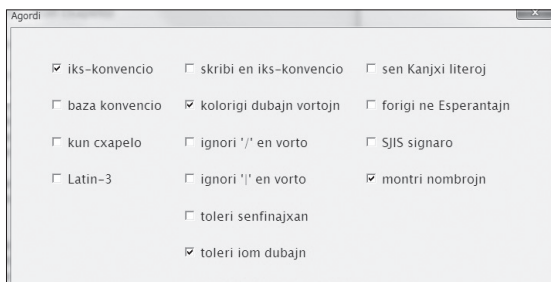
8. 出力エリア。

これは表示用エリアであって、単語の一覧表示専用なので入力ではできません。表示中の単語をダブルクリックすると、入力エリア側の対応する単語を青色表示します。

Originala	Dividita per '/'
Bonigo	bon/ig/o
bonklasaj	bon/klas/a/j
bonkonstruita	bon/konstru/it/a
bonkora	bon/kor/a
bonkoran	bon/kor/a/n
bonkore	bon/kor/e

9. 設定。

[Agordi] を押すと、設定変更ができます。既定値として「X-方式」、「疑わしい語に着色」、「やや疑問の語を許可」、「語数を表示」の各機能を使用するようにしています。文字数が数十万を超えたり、表記方式が異なる場合、エスペラント以外の言語をチェック対象にした場合などは、処理に長時間かかる事があります。「疑わしい語に着色」を使用しないようにすれば処理が速くなります。



まだ語の接続性チェックなど検討の余地が大きいのですが、現状でも校正時のスクリーニングや学習用途には使えると思いますので、試しに使ってください。改善要望などありましたら検討しますので、ご意見をお寄せ下さい。 塚本 猛

関西の雑誌発行活動(2)

峰 芳隆 (兵庫県)

3) L'omnibuso と La dua buso



L'omnibuso は、1964年5月創刊。斎藤英三がひとり編集発行した。先月紹介した Kajero が文学同人誌であるのに対して、これは小さい総合雑誌であった。もちろん文学作品もあり、Kajero と並存した期間が3年近くあったが、執筆者はあまり重なっていない。おそらく、編集を手伝った藤本達生さんの助言によるものであろう。私は、ここで、上山政夫、八木仁平、林健らを知った。外国からの寄稿も多く、イラクの Husain Al-Amily の手紙が頻繁に掲載されていたことを覚えている。ウルリッヒ・リンスの "La danĝera lingvo" も連載された。やがて、そこに発表された作品が出版されるようになった。昨年12月号で紹介した出版社オムニブースである。

斎藤さんがタイプで打った版下が簡易オフセットで印刷されたものであった。丁寧な作りで、読みやすかった。年6回、途中から4回になったが、きちんと定期的に出ていた。財政的には赤字で、発行の都度、斎藤さんの持ち出しと聞いたことがある。それが1980年の第90号まで16年間続いた。

2年後の82年、宮本正男編集、斎藤英三制作発行で、La Dua Buso が2年間の期間限定で創刊され、予定の6号を出して廃刊。そのあと、1984年に、東京の植木太郎が林健、藤巻謙一と一緒に季刊文学誌 Preludo を創刊したが、89年には活動を終えた。その後、しばらく雑誌の無い状態が続いた。

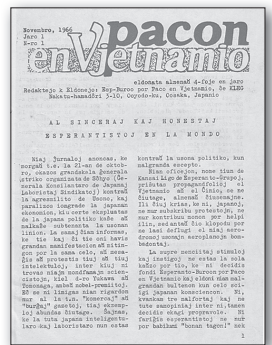
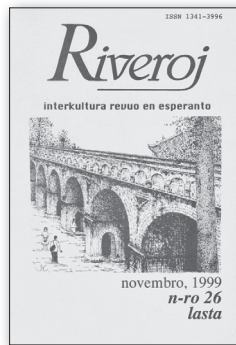
4) Riveroj

1993年、その状態を打破しようと、私が編集し、吉川獎一が発行するという形で、Riveroj が創刊され2013.6

た。私たちは、L'omnibuso と同じような総合誌にしたいと、interkultura revuo en esperanto と銘打った。"interkultura" がまだ一般的ではないころであった。誌名には、様々な川が合流して大海が生まれるという意味を込めた。一方で、アジアの友人たちに発表の場を提供したいと、執筆者を日本を含むアジアの仲間に限って、寄稿を呼びかけた。その結果、毎号のように、中国、韓国、モンゴル、ベトナム、イラン、インド、ネパールなどからの作品を載せることができた。また、沖縄の上原麻奈美に描いてもらった地元

の伝承をテーマにした5編のマンガを掲載、なども試みた。平均48ページで、年に4回発行。吉川さんがパソコンで作る誌面は、読みやすいと好評であった。継続的な新しい書き手は、L'omnibuso のようには生まれなかったが、良質の原稿を受け取るたびに編集者としての喜びを感じた。しかし、1999年に26号で休刊した。原稿集めなどに疲れてしまったため、赤字が原因ではなかった。支援してくれる読者には、申し訳なかった。しかし、上山政夫の遺稿であった太宰治の「斜陽」"La suno sinkanta" を終わるまで掲載することができて、ほっとした。

それからもう十数年。雑誌が出ない状態が続いている。次の世代に期待したいところであるが。



番外) Pacon en Vjetnamio

1966年11月、ベトナム戦争に反対する日本の世論を海外に伝えようと、小西岳、竹内義一、宮本正男らによって作られたベトナム平和エスペラントセンターによって創刊された。制作は斎藤英三が担当。マスコミやミニコミの論説の翻訳だけでなく、書き下ろしもあった。毎号のように上山政夫の詩が載っていた。小西さんが翻訳した本多勝一『戦場の村』も連載された。70年までに13号が出たが、財政は、購読料とカンパでまかなえたそうである。(おわり)

La 1-a Indonezia Esperanto-Kongreso

La temo “Revivigu la Indonezian

Esperanto-Movadon”

ĈE Juna (Osaka)

De la 5a ĝis la 8a de aprilo okazis la 1-a Indonezia Esperanto-Kongreso en urbo Bogor, kiun atingi oni bezonas ĉirkaŭ 1 horon aŭte de la ĉefurbo Ĝakarto. (Sed mi kaj aliaj bezonis almenaŭ tri horojn pro multe da trafiko de Indonezio) En la kongreso 66 esperantistoj el 10 landoj partoprenis. 3 landoj, el kiuj partoprenis plejmulte, estas jenaj: unue 39 el Indonezio, due 10 el Japanio (inkluzive min), trie 6 el Aŭstralio. Programeroj de la kongreso estis ordinaraj, sed ĉiuj E-gvidantoj estis alilandaj esperantistoj, malgraŭ multaj komencantoj de indoneziaj junuloj. Ili pasigis tempon kun diversaj alilandanoj kaj tagon kaj nokton. La kongreso estis ne granda, sed sufiĉe internacia, kvankam ĝi okazis por la unua fojo.

Okaze de la kongreso la plej grava novaĵo estis fondo de IEA (Indonezia Esperanto-Asocio). Tiu asocio fondiĝis meznokte post ĉiuj programeroj en la lasta nokto. Pro tio, ke jam estis malfrua nokto, iom rapide iris la afero. Sed la asocio certe fondiĝis kaj ankaŭ elektiĝis estraro. Preskaŭ ĉiuj membroj estas junuloj, kiuj loĝas en diversaj lokoj en Indonezio, do mi esperas, ke la movado progresos bone kune kun la juneco.

Aliflanke 10 partoprenantoj el Japanio estis specialaj. Tio signifas ne nur la plejmulte da alilandaj partoprenantoj, sed ankaŭ la plej aktivaj. Unu el ni prelegis dum la kongreso kaj unu el ni rilatis al la indonezia E-movado kaj unu el ni gajnis la plej bonan rezulton de E-ekzameno kaj ni ĉiuj kantis la kanton “Heliko” dancante en Arta Vespero. Por tio ni ekzercis nin klopodante kolektiĝi dum niaj tempoj kaj ĉiuj vidantoj varme aplaudis nin. Mi pensas, ke ni 10 helikoj ĝuis la kongreson pli multe ol la lokaj partoprenantoj. Pruve LKK

La Movado 748

donacis al ni indoneziajn pupojn en la Ferma Soleno.

Post mia reveno mi nun antaŭĝojas kaj antaŭsupozas, ke la 2-a kongreso estos pli prospera ol la lasta.

はじめての体験

市川晋平 (京都府)

4/5 ~ 4/8 まで、インドネシアのボゴールにて、第一回インドネシアエスペラント大会に参加させていただきました。これは、その名の通りインドネシアでの初めてのエスペラント大会であり、同時に自らにとっても初めての海外エスペラント大会の参加です。これも何かのご縁、と、インドネシアには深い親近感を感じた次第でございます。大会には、数十名のインドネシアの方や、韓国、中国などその他アジアの国々、欧州の方々など、あらゆる国からの参加者であふれ、にぎわっていました。プログラムとしては、エスペラント講習、文化体験、インドネシア語のレッスン、オークションや口頭発表まで、様々なものがあり、参加者は思い思いのプログラムに参加して、大会を楽しんでいました。

さて、個人的には初めての海外での大会なので、エスペラントでの交流そのものに慣れないこともあり、うまく考えが伝えられなかったり、聞いたことが理解できなかったりといったことも多かったのですが、これは今後の自分への課題として、精進していくきっかけとしては十分なものであったと感じています。今回の大会で交流した方々とは、またどこかのエスペラント大会、もしくは本当に、ふとどこかで出会うかもしれません。いえ、きっと出会えると信じています。遠くの国の人であっても、各地の大会や、Pasporta Servoなどでいつでも再会することができる、そんなエスペ란ティストどうしのつながりの強さこそが、エスペラントの醍醐味だと思っております。この経験を糧に、今後もエスペランティストとして、また一人の人間として切磋琢磨し、成長していく思いを改めて固めた所存です。今回の大会で、支援していただいた方々、また、大会中も色々お手助けしていただいた方々、大会参加者の方々すべてに、深く感謝の意を捧げます。本当にありがとうございました。

(編集部より) ĈE Junaさんと市川晋平さんは、KLEGの青年奨学金を受けてこの大会に参加されました。

竹花 人さんが版画家になったきっかけ

田熊健二 (奈良県)

KLEG 草創のころから宮本さんをよくご存知の竹花人 (たけはな・と) さん、本名竹花稔一さんをご自宅に前川治哉さんと訪ね、お話をお聞きして田熊がまとめた。竹花さんは 91 歳のご高齢であるが、お元気であった。

「宮本さんとは敗戦の次の年に出会った。満州の大学から軍隊に直行して復員した私には彼の話は新鮮で驚異だった。彼から学んだのはエスペラントばかりではなかった。」これは本誌 N-ro462 の宮本正男追悼特集に竹花さんが書いた冒頭のことばだ。

竹花さんがエスペラントを学ぶきっかけになったのは、大学で学んだドイツ語の本に「エスペラントの現在・過去・未来の時制が正確である」と述べられているのを読んだことによる。そのとき母方の祖父 (工藤ノリシゲ) がエスペランチストであったことを思い出したという。

そして 1951 年 3 月 25 日に KLEG が設立されたが、設立にかかわった、いまでは数少ない 1 人である。設立当初から KLEG は活発に活動した。「きけわだつみの声」"Aŭskultu, la Voĉojn de Oceano"、『原爆の子』"Infanoj de l' Atombombo" を同年に共同翻訳、出版し、その後も次々と出版した。竹花さんは共同翻訳には、「エスペラントは好きだったが、才能がなかったので、参加しなかった」そうだ。1953 年に活字を購入し、植字の手ほどきは、印刷工であった後岡満寿次郎さんから受けて、毎晩宮本さん、山本達雄さん、竹花さんが活字を拾い、版を組んだ。赤田義久さんも手伝った。毎月モバード 2 ページと文庫本 6 ページが大体のノルマだった。竹花さんはこの仕事に熱中した。この仕事が認められ、第 2 回関西大会 (1954) で山本達雄さんとともに KLEG 賞を授与された。

組版に習熟するにつれ、挿画やカットがほしくな

り、製版代が高いので、自分で画いて版木に彫れば、ということになった。宮本さんから「版画を習ってこい」といわれ、うまい具合に毎日新聞が版画教室を開いたので、それに参加した。先生はあの棟方志功であった。しかし、生徒は 2 人で、棟方はすぐ版画教室をやめてしまった。そのとき、「版画をやりたいのなら、私のところに来なさい」と竹花さんの才能を見込んでか声をかけてくれたのが、版画家、森本木羊子 (もくようし) であった。森本氏のところで毎週ほぼ 1 年通って版画の才能を開花させた。

宮本さんと活字を拾い、版画をやったあのころが一番充実していたと回想している。組版は約 4 年でやめたが、竹花さんは版画に打ち込み、会社を退職したときには、持っていたエスペラントの蔵書は KLEG に寄付して版画家の道を選んだ。しかし、エスペラントをやめたわけではなく、今も大阪エスペラント会 (OES) の会員 (したがって KLEG の会員) であり、JEI の会員である。国内外の大会に参加したり、旅行したりしたときの風景や観光地などを版画にした。宮本さんの元気な間に作品展を催し、画集もみてもらえたそうだ。「土耳其 (トルコ) の旅 (1988)」、「仏跡とインド (1989)」、「竹花人版画小品集 (1994)」などの作品集も発表した。5、6 年前であったか、集大成の 10 部限定の画集を OES もいただいた。2011 年 8 月にマサゴ



若き日の宮本正男

絵：北さとり 版画：竹花人
La Movado N-ro 462 から再録

画廊で開かれた作品展には私も前川さんと見に行った。竹花さんの版画は La Revuo Orienta n-ro 995 ~ 1016 (2 年間 22 号) の表紙を飾っている。また、KLEG 発行の本の挿絵に使われている。「Ivan la malsagulo」の挿絵もそのひとつである。

「版画を習ってこい」という宮本さんの一声が版画家竹花人を生むきっかけとなった。

原稿募集

宮本正男さんが生まれて今年で百年。宮本さんの思い出を編集部にお寄せください。締切は毎月 20 日 (8 月まで) 長さは 23 文字 × 83 行以内です。

最近心に強く響いたできごと

相場朋子（兵庫県）

1977年、エスペラントを学び始めてから2年後に、初めて参加したスイスのルツェルン UK 以降続いていたフィンランドの Eila Martin との文通が、一時途絶えたが、2003年のヨーテボリ UK での偶然的な再会で復活した。最近の彼女の長い手紙は主に、Eila が列車の中で読んだ G.J. Ramstedt (ラムステッド) の著書の内容に関するものであった。

「1920年から1929年までフィンランドの大使として来日していた Ramstedt はエスペランチストであり、日本語も学んで日本人と良い関係を持っていた。最も興味深く驚くべきことには、日本人のお陰でフィンランドとスウェーデンの間にある大きな島は現在フィンランドのものになっている。北方の近隣国であるスウェーデン、ノルウェー、デンマーク、アイスランドとドイツの中でも、特にスウェーデンは国際会議でその大きな島を自国のものと決定してくれるよう要望していたが、全員が驚いたことに、日本の代表者が異議を唱えて、一番大きな島はフィンランドよりスウェーデンに近かったにも拘らず、フィンランドの領土となり、大きな島とスウェーデンの間には深い海のみ残った。」その歴史的事実を Eila も私も知らなかった。

私は Ramstedt についてさらに知りたく思いインターネットで調べてみた。

「1917年のフィンランドの独立に伴い、1920年に日本への最初の大使となり、東京帝国大学でしばしば客員講師を務め、そこで柳田國男、新村出、金田一京助に影響を与えた。彼は驚くほど早く日本語を習得した。Ramstedt はフィンランドの最も初期のエスペランチストの一員であり、1891年にそれを学んでフィンランドエスペラント協会の会長となった。日本に滞在中、彼は日本エスペラント学会(当時)が先導していたエスペラント活動に参加した。

Ramstedt の日本語での講演を聴いて、若い詩人、宮沢賢治がエスペラントを学ぶことを決心した」とのことで、Ramstedt が著名な民俗学者や言語学者に影響を及ぼし、さらに若い詩人の宮沢賢治にエスペラントを学ぶ動機を与えたという事実に、私は強い衝撃を受けた。講演の内容や、賢治の思いなど、詳細を知りたく思う。ご存知の方は教えて頂きたい存じます。

次にもう一人の友人、1999年のベルリン UK で知り合った Barbara Glaser には、これまで5回、Gerlingen の自宅に招待して頂き、ドイツの自然と、文学や音楽に関する文化を、彼女の家族、友達ぐるみで満喫させて頂いている。5度目の訪問の折に、私は、若くして逝ってしまった、エスペランチストであった妹、前川典子の追悼集『きびたき』を持参した。その中の、Ulrich Lins (ウルリッヒ・リンズ) より私の両親に当てて頂いた「(略) 私は1971年から1972年にかけて、また1976年に日本を訪れた際にお嬢さんにお会いし、よく存じ上げています。(略) 私の手元には、KLEG の人たちと一緒に写った、彼女の写真もあります。(略) ご両親をお慰めすることはとても出来ないことだと思いますが、日本だけでなく、外国にもお嬢さんについての思い出を持つ人間がいる、と言うことが、少しでもあなた方の悲しみを和らげることになれば、と思います(1977年7月、小西岳訳)」というお悔やみの言葉を読んで、Barbara は痛く感動し「自分も U. Lins をよく知っており、1988年のドゥイスブルグでのドイツエスペラント大会の折に、Lins は Barbara 所有の、Lins の著書『危険な言語、エスペラント』に署名してくれた」と言って、私にその本を譲ってくれようとした。

先日、今秋の日本エスペラント大会に Ulrich Lins が講演されると言う報に接し、出来れば是非 Lins に会ってみたいと、Barbara にメールしたところ、即刻返事が返ってきた。「Lins の『危険な言語』を出版した Bleicher-eldonejo は、自分が住んでいて、朋子もよく知っているこの Gerlingen にあり、自分は H. M. Bleicher をも個人的によく知っていた」とのことで、以前にもそのような話を聞いてはいたが、今、改めてその意味の深さに気付き、不思議なめぐり合わせのような感動を覚えたのであった。Barbara 自身も「偶然と言うか運命みたいなものが、ぐるっと円のように回って閉じたような思いを感じる」と感激していた。

以上、最近、エスペラントが与えてくれた、貴重で不思議な体験を記してみた。

Gimnastiko por cerbo 200円(7月末まで)

数学パズル50題。解答と日本語の解説付き。モバード新書。急逝された Enigma 欄担当の辰巳博さんを悼み、その著書を期間限定の特別価格で販売します。



Saluton!

堀ノ江善仁 (福岡県)

私は太宰府エスペラントクルーボでエスペラント語を学び始めました、堀ノ江善仁 (ほりのえよしひと) と言います。筑紫野市にある福岡高等視覚特別支援学校 (盲学校) に勤務しています。

私がエスペラント語に興味を持ったのは、西日本新聞に掲載された講座案内の広告を読んでからです。以前私は韓国語やイタリア語の講座に通ったことがあります、中途半端な形で終わってしまい、マスターすることはできませんでした。エスペラント語の講座は主に週末に行っており、仕事と重なることが少ないこと、今度は挫折することなくひとつの語学をやり遂げてみたいという思いからでし

た。インターネット等で調べてみると色々なことが分かってきました。エスペラント語を理解することで他の言語も学びやすくなるということや、戦前に日本で活動したロシアの盲目の詩人エロシェンコ氏の影響で今でも視覚障害者の間でエスペラント語を学ばれる方が多いということなどです。特に後者の事例は私が盲学校に勤務していることもあり、大いに関心を持つきっかけとなりました。

現在武藤たつこさんの自宅で毎週小グループでの学習に励んでいます。また通信教育講座も受講し始めました。文法上の規則のことで間違った答えを出してしまうこともあります、みなさんの支えもあり楽しく学ぶことができています。将来の夢は、エスペラント語を使って日本や世界の人たちと文通し友達を増やすこと、盲学校での仕事にエスペラント語を活かしていくことです。これから末永くよろしくお願ひします。



rakonti: Parole aŭ skribe sciigi okazaĵon en detalo.

*La edzon ŝi renkontis,
Kaj ĉion ŝi rakontis
Pri sia amperfido,
Neniom ŝi ekhontis.*

rapida: 1 Povanta iri longe aŭ fari multe en mallonga tempo: *rapida* ĉevalo, trajno. 2 Farata aŭ okazanta en malmulte da tempo: *rapida* laboro, progreso, movo.

*Li estas monavida,
En agoj tre rapida.
Li tamen malsukcesis,
Ĉar estas li senvida.*

raporti: 1 Veni voĉe ripeti al iu tion, kion oni aŭdis. 2 Alporti al superulo novaĵon, kiun oni vidis, aŭdis aŭ spertis. 3 Fari priskribon de okazintaĵo por gazeto.

*La princino ofte sportis,
Kaj subite ŝi abortis?
Tamen pri la vera kaŭzo
La ĵurnaloj ne raportis.*

reala: 1 Vere ekzistanta, ne imagata, ne ŝajna.
2 Havanta la ecojn de ĉio materia, ne ideala.

*Esperanto, ideala
Solve de l' problem' reala
De komunik' internacia,
Venku en konkurs' finala!*

reflekti: Reĵeti aŭ alidirektigi lumon aŭ varmon.

*Reflektas sonon muro,
Kaj lumon la spegulo.
De mur' aperas eĥo,
Kaj en spegul' figuro.*

田中禎一 (たなか・ていいち) さん: 4月17日死去。77歳。日本盲人エスペラント協会 (JABE) の前事務局長。幼児期に失明。東京都立の盲学校で理療科教員を務めた。エスペラントは、1965年日本点字図書館の講習会で学習し、視覚障害者が中心のロンド・コルノの結成に参加。JABEにも参加し、それぞれで中心的メンバーとして活動。ピアノの優れた演奏者として、多くの日本大会で La Esperoなどを伴奏。全国合宿等でも歌唱をアコーデオンで伴奏するなど親しまれた。温泉川美喜雄さんたちの「エスペラントを広める会」が出している盲人のためのテープ情報誌にエスペラントの歌唱を提供。世界大会と国際盲人エスペラント大会にも参加。 [← JABE]

KLEG の林間学校、9月の連休に開催

関西エスペラント連盟の第45回林間学校は、9月14日(土)～16日(月、祝)に開催される。会場は昨年と同じ、善き牧者愛徳の聖母修道会修道院(大阪府豊中市)。

初夏の札幌で合宿

北海道エスペラント連盟がエスペラント合宿を6月29日13時～30日12時、札幌市の柴田内科循環器科研修センター(西区西野1条7丁目)で開催する。入門、初級1、初級2、中級。詳細は、同連盟事務局(nordano@sea.plala.or.jp:川合由香)へ。

EPAの国際合宿、韓国で開催される

EPA(エスペラント普及会)・ソウルエスペラント文化院・南岡(ナムガン)書院共催の第23回国際エスペラント合宿が4月20日～21日、韓国清道郡のビスルリゾート・南岡書院で行われた。参加者は約70人で、日本からは福岡、熊本、徳島より7人。20日午後7時より開講式、5クラスに分かれて学習。10時より懇親会。21日午前7時半より対面会話練習、朝食後9時半より学習、午後1時会場を南岡書院に移し閉講式。解散後釜山にもどり現地エス会会員らと夕食会開催。釜山泊。22日釜山エス会会員の案内で釜山市内観光ののち帰国した。

参加者のうち武藤たつこさんは合宿後ソウルへ移動、ソウルエス語文化院や大学のエス語講座に招待され24日に帰国した。

なお、この合宿は日本と韓国で交互に開催されている。[←松本朗]

福岡で一日講習会

福岡エスペラント会は3月20日、福岡市のイムズビル8階レインボープラザで2時間の初心者向け講習を行った。日本エスペラント協会発行のパンフ「国際語エスペラントへの招待」を使って武藤たつこさんが説明、続いて中村正司さんが英語とエスペラントの違いについてや両言語のすすめについてなど、体験に基づいたお話をした。受講者は6人で、いずれも若い社会人や大学生で、全員が口コミによるもの。新聞に予告記事は載ったが、それによる間

い合わせや参加はなかった。来月も実施する予定。

[←武藤たつこ]

ロンドの年次総会

神戸エスペラント会:4月6日、神戸市青少年会館で開催。10人が出席、委任は15人。活動報告・会計報告、役員選出、新年度の活動方針を満場一致で承認・決定した。今年の活動方針の特徴は、インターネット百科事典Wikipediaの神戸市・神戸エスペラント会関連の記事を充実することと、第62回関西エスペラント大会(姫路)への協力があげられる。[←磯貝尚武]

近江エスペラント会:4月21日、草津市立まぢづくりセンターのふらっとサロンで開催。

出席は、委任を含めて5人。2012年度の反省と会計報告、2013年度の活動方針を話し合った。役員改選では、全員留任となった。定例会には出席が困難な人の参加もあって、新人獲得の方法についても議論し、外国人を招いての講演、講習会等の市民向けイベントを積極的に開催していくことを約して散会した。[←大西真一]

宇治城陽エスペラント会:4月27日、南宇治コミュニティセンターで開催。出席8人、委任7人。活動報告、会計報告、役員改選、新年度の活動計画などを話し合ったあと、web版宇治市観光案内の試作品を見た。この観光案内は会員が手分けして原稿を書いている。[←西千寿子]

小学校卒業式に姉妹都市から祝辞

高槻市五百住小学校卒業式に、今年も中国常州市東方小学校から祝辞が届いた。1988年から両校の交流を高槻・常州両エス会が支援し、友好関係が続いている。[←浮田政治]

堺でお茶 te-ceremonio を学ぶ会

堺エスペラント会は3月31日、三津英子さん宅で、三津和子さんを講師に「桜づくし」をテーマにお茶を学ぶ会を行った。参加者は堺・富田林・大阪エスペラント会から合計9人。韓国出身のチェ・ユナさんも交え、お茶の作法などを学んだ。

[←寺本元子]

VORTOKRUCA ENIGMO

Redakcio

Vicigu adekvate la 11 literojn trovitajn en la kvadratetoj kun steleto. Tiam vi akiros veston por iu celo.

Sendu la trovitan vorton kiel solvon de la enigmo, ĝis la 20-a de junio en 2013.

Rimarko: (x) signifas, ke la vorto ne portas finaĵon.

- Horizontale:** 1. Ekzemple "a" kaj "e" estas vokaloj kaj "b" kaj "c" estas ~oj.(x) 8. Duoblo de kvar.(x) 9. Sufikso por montri daŭran agon.(x) 10. Ne falsa aŭ mensoga.(x) 11. Organo, kiu movas diversajn partojn de la korpo.(x) 14. Pronomo pli ofte uzata por objekto, ol por homo.(x) 15. Io estas ~ bona ol nenio.(x) 16. En la kongreso ŝi havis gravan ~on.(x) 18. Artikolo.(x) 19. Fama rivero fluanta tra Sudano kaj Egiptio.(x) 21. Ege, je alta grado.(x) 22. ~u kun aliaj, kiel vi volas, ke oni ~u kun vi.(x) 23. Finaĵo de verbo, montranta ne-realecon.(x) 25. Kio estas via ~o? Mi estas Suzuki.(x) 28. Plej multa elemento de la surtera aero.(x) 32. Trinkajĵo amata vaste en la mondo.(x) 33. Perdinta prudenton aŭ sinregadon.(x)

1	2		3	4	*	5	6	7
8			9			10		*
11	*		12			13		14
15	*			16		17		
		18	*		19	*	20	*
21				22	*		23	24
		25	26			27		
28	29		*			30		31
32				33		*		

- Vertikale:** 1. kapabla plenumi necesajn laborojn aŭ taskojn. (x) 2. ~on pro ~o, denton pro dento.(x) 3. Dum tendumo ni dormis en dorm~o. 4. Agrable ~as la floroj de jasmeno. (x) 5. Patro de patro aŭ patrino.(x) 6. ~o kovras altajn montojn dum vintro. 7. Plekti lanan fadenon per tiucela ilo kaj fari bluzon, ĉapon ktp.(x) 12. ne eligi sonon aŭ voĉon.(x) 13. Misisipo estas la plej ~a rivero en Usono.(x) 17. Pronomo de tria persono.(x) 20. Prunte uzi ion pagante monon.(x) 22. Venuso estas diino de ~o.(x) 24. Pronomo refleksiva.(x) 26. Infano perdinta patron aŭ/kaj patrinon. (x) 27. Mi trinkas kafon kun kremo kaj ~ sukero. (x) 29. En iu loko.(x) 30. Kiom da ~fratoj vi havas?(x) 31. Esti aŭ ~ esti, tio estas demando. (x)

La solvo al la aprila enigmo:
violonisto

N	E	D	E	R	L	A	N	D
A	R	A	N	E	R	A		
J		N		L	A	B	O	R
T	A	K	S		N	A	V	
I	D		I	L	A	Z	I	
N	O	R	D		D	E	N	
G	R	U		K	O	R	N	
A		B	L	U	U	E	A	
L	U	L		L	A	M	P	

La ĝustan solvon donis 8 legantoj:

平井倭佐子, CA, Maĉjo, 西千寿子, Kacu, 荻原克己, 水渡篤子, 中村文雄

楽しい作文教室 (24) 成績

17名の方から応募がありました。()内は留意事項です。

うん、良いね: AG, ヒー坊, 田原, M.H., Eiko, Ĉielo, ikona(je), Ĉielarko, CA, Fumi, 西

良いね: Drako, alfa (③ ekster), Ivajo(je), festo

もうひといき: sakura(綴り), 水渡 (je)

がんばろう: 無し

キラリ賞: 水渡 (②), 西 (②)

Mikspoto

(当欄は敬称略)

☆ 『世界』(岩波書店) 5月号「未完の戦時下抵抗 16回 全身作曲家 吉田隆子 その2 リアリズムの探究」に、「鳥山は大正デモクラシーの影響下で育った青年たちが作った、人形劇を中心に、美術、音楽、文学などの総合芸術、またエスペラントや社会科学等を学ぶサークル《ラ・クルーボ》(1927年結成、人形劇団《プーク》の前身)のメンバーだった」と。(吉田隆子については、本誌2012年11月号 Salono 参照)。 [←野々村耀]

☆ 岸博実『ぼっちゃんの夢 - とりい・とくじろう物語』(自家版、3月)は、子供向けに書かれた鳥居篤治郎の伝記であるが、鳥居篤治郎が東京で友人になったアレキサンダーとエロシエンコについて、「二人とも、エスペラントが上手でした」「ぼっちゃんは、仲良くなった二人を通じてエスペラントに魅せられました」などとあり、エスペラントの説明も。著者は京都府立盲学校教諭で本誌読者。 [←峰芳隆]

☆ 『中野書店古本倶楽部 お喋りカタログX』(4月)に、「緑葉 (VERDA FOLIO) 林稲苗編、ヴェルダフォリオ社。第1号(大正13年10月1日)～15号(大正14年12月1日)合本。少虫損有84,000円。京都カニヤ書店・中原脩司の刊行したエスペラント雑誌。各々8頁程度の薄冊なので、15冊の合本版ながら、おおよそB5判大の、大判のノート程度の大きさ厚さです。但し最終号だけは半分の大きさとなっていて、巻末に「本誌の国際化一来る新年号より」とする挨拶があるので、いったん15号で終刊しているように見うけられます。いずれにせよほとんど見る事のない雑誌です」と。 [←峰芳隆]

☆ 『中央大学大学院研究年報』41号(2011年)に、鄭惠珍(ジョン・ヘジン)「エスペラントと「言語」認識:二葉亭四迷の『世界語』を通して」。 [←峰芳隆]

☆ 三重大学人文学部の紀要 "Philologia" 41号(2010年)に、野呂俊文『『ハムレット』の二つのエスペラント語訳に見るエスペラント語の造語法: カテゴリーを表す接尾語』、同42号(2011年)に野呂俊文『『ハムレット』の二つのエスペラント語

訳に見るエスペラント語の語源」。 [←峰芳隆]

☆ 『週刊うたごえ』4月15日付のエッセイ「空を見てますか」の中で「小学校の学芸会で、上級生がザメンホフの生涯を劇として上演した。エスペラントを考えた人だ」と、池辺晋一郎が書いている。

[←相川節子]

☆ 旧聞になるが、『相関社会科学』19号(東京大学大学院総合文化研究科、2009年)に、尹智煥(ユン・ジヨン)「1930年代の日本のエスペラント運動と国際関係」。 [←峰芳隆]

★ 文芸誌 "Literatura Foiro" 261号(2月)に、「Kiel verki hajkon en Esperanto」の書評。評者の Ivanička Maĝarova はブルガリア人で、hajko を作るらしい。 [←峰芳隆]

KLEG 事務局だより

★ 5月25、26日に和歌山市で開催される第61回関西大会には、例年どおり KLEG 書店を開設します。

約1000点の書籍やCD、DVDを直接見て、しかも5%引きで購入できるチャンスを活用しましょう。

★本誌に連載された太宰治著小西岳翻訳の「走れメロス」を出版し、大会で発売します。

大会期間中は、特別価格で販売しますので、是非お買い求めください。

また、一部の本を値下げ販売する予定ですので、大会 Salono にお越しください。

楽しい作文教室8月号課題(6月20日締切)

①落ち葉の下にガラスのかけらが落ちているのだろうか?

②彼は無関心に落ち葉のそばを通り過ぎて行った。

③2時間後、彼は大きな門の前に立っていた。

④そこには彼のほかに3人が立っていた。

(ヒント) ガラスのかけら *peco de vitro*, 無関心な *indiferenta*, 落ち葉 *falintaj folioj*, *preter*, *krom* を調べましょう。日本語の原文の内容が、相手にはっきり伝わるように考えて訳してください。

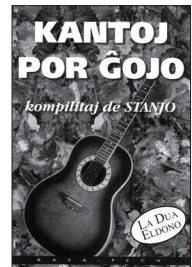
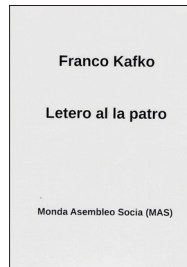
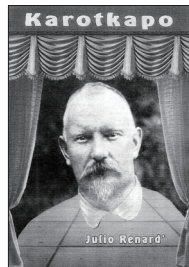
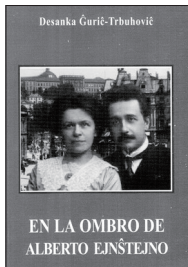
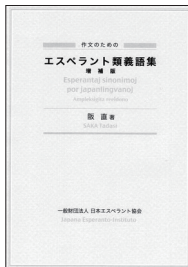
送付先:

【郵送】〒674-0092 明石市二見町東二見 515-1-811
塚本 猛

【電子メール】c_tak@esperanto.ne.jp

(件名に「作文」の文字を入れてください)

添削は受け付けておりませんのでご了承ください。



★ 新刊・新着

作文のためのエスペラント類義語集 (増補版) 840円
 阪直著。値段は据え置きで2000年発行の初版を大幅に増補。豊富な用例で表現の幅が広がる。索引付き。JEI発行。A5判、191p。

En la ombro de Alberto Ejnŝtejno 1800円
 Sedanka Ĝuriĉ-Trbuhoviĉ 著。アインシュタインの妻になった女性の伝記。セルビア語からの翻訳。A5判、188p。

Karotkapo 180円
 ジュール・ルナールの戯曲「にんじん」。赤い髪の少年は家族から「にんじん」と呼ばれて……。フランス語からの翻訳。A5判、19p。

Letero al la patro 1200円
 作家カフカが父親に宛てた手紙。ドイツ語からの翻訳。A5判、81p。

★ 再入荷

Arne, la ĉefido 650円
 バイキングの物語。挿絵入り。チェコ発行

Ĉeriza ĝardeno 3500円(新価格)
 チェーホフ「桜の園」他の短編34編+戯曲2編

Kantoj por ĝojo 650円(新価格)
 世界の民謡 (popolkantoj) 30曲 (楽譜付き)

Kolektanto de ĉielarkoj 1600円(新価格)
 表題作など23編を収めた Tibor Sekelj の短編集

Kredu min, sinjorino! 1600円(新価格)
 言葉遊びの名手 Cezaro Rossetti の古典的名作

La senĉesa rakonto 2800円
 ミヒャエル・エンデ「はてしない物語」

Sur sanga tero 750円(新価格)

Viktimoj 750円(新価格)

Julio Baghy の長編小説・シベリア二部作

★ KER試験の参考書

Esperanto de nivelo al nivelo 1400円
 EU基準の新しい国際的言語試験KERの参考書。KER試験を受験する人に、また、自分の力を試したい人のために！

★ 在庫から

La metamorfozo 1500円
 カフカ「変身」。ある朝目覚めると……

Relativeco per bildoj 1000円
 アインシュタインの相対性理論の解説

編集ノート



ĈE Junaさんと市川晋平さんは、インドネシア大会の写真も送っていただいたのですが、誌面の都合で掲載できませんでした。国際合宿の写真も今回は載りませんでしたが、これにこりずに写真を添付していただくと、ありがたいです。

Salonoの原稿を募集しています。半ページ(23文字×40行)までで、経験談やご意見などをご投稿ください。これも写真添付は歓迎です。

Literumilo Esperanta を使われたご感想もよろしく。記事の送り先は lamovado@gmail.com です。(島谷剛)

ご注文は郵便、ファクス、電子メールで。送料は実費。現品と一緒に請求書を送ります。支払いは振替口座で。

発行所：ラ・モバード社 編集：小西 岳 発行人：北 さとり 定価280円 送料60円 1年3800円 送料共本
 局：一般社団法人 関西エスペラント連盟内 561-0802 豊中市曾根東町1-11-46-204
 電話 (06) 6841-1928 ファクス専用 (06) 6841-1955 電子メール：esperanto@kleg.jp
 振替口座 00960-1-60436 「一般社団法人 関西エスペラント連盟」 ホームページ：http://kleg.jp
 九州支局：九州エスペラント連盟内 818-0105 福岡県太宰府市都府楼南2-8-7 武藤たつこ方 電話 (092) 923-2877
 中国四国支局：中国四国エスペラント連盟内 734-0041 広島市南区黄金山町7-15 忍岡守隆方 電話 (082) 286-2745
 印刷人：村 上 治 道 621-0815 京都府亀岡市古世町北古世82-3 株式会社 天声社